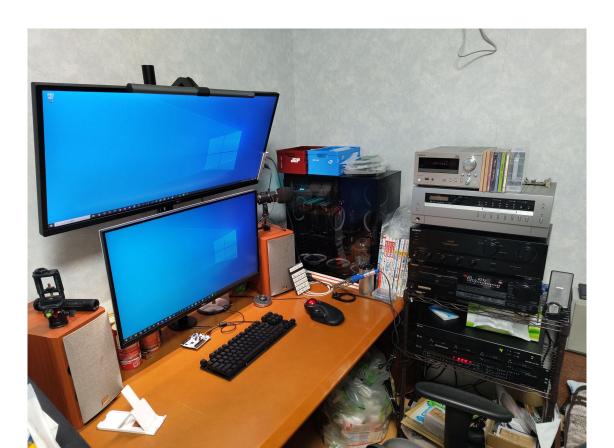
はるさめ邸の オーディオ環境

~放送機器を添えて~

まずはデスク周りを



どんなオーディオ環境?

- 普段使い用と放送機器がごちゃまぜ
 - ここが今の課題
- 小型メタルラック周辺にまとめてる
- そろそろ棚板の耐荷重が心配



普段使いのオーディオ機器

- 一番上:DAC として使ってるコンポ
 - ONKYO CR-N765
- 一番下: CD プレイヤー
 - Technics SL-P999

その上:メインのスピーカアンプ

- SONY TA-F510R

残りの子:これは後で・・・



放送機器寄りのオーディオ機器①

さっき飛ばした子: PA アンプ

- TOA TA-2030R
- ハイインピーダンスアンプ
- モノラルしか出せない(!!!)



放送機器寄りのオーディオ機器②

上から

- TOA ML-1000 ←現行の音源装置 (通称 "新音源")
- TOA ML-304B ←旧世代の音源装置(通称 "旧音源")
- TOA TT-104B ←プログラムタイマー



放送機器寄りのオーディオ機器③

なんの変哲もないスピーカ

特徴:ハイインピーダンス入力

- 普通のスピーカ:8Ωとか

- これ:10kΩ

- 1W 出力 @ 100V RMS

学校の壁にあるのと同じやつ

目覚ましとしても使ってるので枕元に置いてる



なぜインピーダンスがこんなに高いの?

仮に・・・

10 Ωのスピーカを 1W × 40 教室分鳴らしたい(各学年 10 クラス + 特別教室)

- 一台あたりの電流:0.3[A]
- アンプからスピーカまでの距離:50m(平均的にこれくらい)
- 銅線の長さあたりの抵抗:9[Ω/km](Φ1.6mm の IV 線のおおよその値)

これらからわかること

- 配線抵抗:1[Ω](9×0.05×2=0.9[Ω]≒1[Ω])
- アンプの出力電流:0.3 × 40 = 12A(!!!)
- 配線での電力ロス:約4%

なぜインピーダンスがこんなに高いの?

では・・・

10k Ωのスピーカを 1W × 40 教室分鳴らしたい

- 一台あたりの電流:0.01[A]
- アンプからスピーカまでの距離: 50m
- 銅線の長さあたりの抵抗:9[Ω/km]

これらからわかること

- 配線抵抗:1[Ω]
- アンプの出力電流:0.01 × 40 = 0.4[A]
- 配線での電力ロス:約0.02%

なぜインピーダンスがこんなに高いの?

つまり・・・

- 効率がいい(ロスが少ない)
- 電線の長さの差による影響が少ない
 - 電流が小さいため電線でのロスがほぼ無視できるから
- アンプの出力電流による負担が小さい
- スピーカとアンプの距離を長くすることができる
- 一台のアンプで大量のスピーカを鳴らせる
 - 集中制御に使える

などなどいろんなメリットがある

家でやるメリット・デメリット

【メリット】

- 独特の音質を楽しめる
- 手元で時報を鳴らせて楽しい
 - 好きな時間に好きなメロディを設定できる
- 所有欲を満たせる(←これ超大事)

【デメリット】

- 高い(高い)
- 音源カードや機材の入手性が悪い(中々中古市場に出回らない)
- ステレオ音源を流せない(モノラルにミックスされる)

総額計算してみた

- CD プレイヤ:0 円(祖父からのお下がり)
- メインアンプ:0円(祖父からのお下がり)
- コンポ :0 円(同級生からもらった)
- PA アンプ:15,000円
- 旧音源 :2,000 円
- 新音源 : 20,000 円
- タイマー :20,000円
- スピーカ :2,000 円

合計:59,000円

感想:構成の割には安く揃えれた

今後の課題

- 一般的な機器と逸般的な機器がごちゃごちゃ
 - 放送機器系はラックに収めたい
 - 自宅鯖とは別ベクトルでラックが欲しくなる
- もっと音源のバリエーションを増やしたい
 - お財布と相談
 - 現状 TOA のみ. UNI-PEX とか Panasonic の音源も欲しい
- 裏の配線が地獄
- CD プレイヤの調子が悪い
 - 修理するかなんかしないといけない
- スピーカの音量調整が手元でできない
 - アッテネータは買ってあるので、あとは配線するだけ

さいごに:ちょっとした宣伝

自宅の放送設備が動く様子を YouTube にあげてます

https://www.youtube.com/watch?v=wCsBBFhXvoM など



ご清聴ありがとうございました

進捗あったらまた LT します

